

# 「尊敬と信頼が必要」

AMDA・菅波茂代表

チーム派遣、北区で講演

東日本大震災の被災地に医療チームを派遣した国際医療救済団体「AMDA」の菅波茂代表が13日、北区奉還町の生活協同組合おかやまコープ本部で講演し、「被災者のプライドを考えた支援を」と訴えた。

AMDAは岩手県大槌町や宮城県南三陸町など4市町で4月末ま



「被災者のプライドを考えた支援を」と話すAMDAの菅波代表 北区で

で活動。「支援する側が被災者にありがとうといえる尊敬と信頼の関係がつけられるかが重要」と指摘し、「そうした関係になるために岡山からの支援は3年は必要だ」と話した。

一方、「津波でお金

と避難所にいるしかない。一刻も早く義援金を配る方法を考えるべきだ」とした。さらに被災者に「あなたは必要とされている」と感じてもらうため、運転手や看護師として雇ったことも紹介した。

また「被災地の中学校のサッカー部員を岡山に呼んで、試合やホームステイで交流できる場をつくりたい」と今後の計画も披露した。 【江見洋】

## 東日本 大震災